

## 令和7年度和歌山県立那賀高等学校第3回学校運営協議会

- 1 日 時 令和8年3月4日(水) 9:30~12:00
- 2 会 場 那賀高等学校 会議室
- 3 出席者 細田 能成 福山 晴美 大西 英喜 川崎 勝規 北田のぞみ  
森 文哉

### 4 日 程

- (1) 開 会
- (2) 協議  
(校長説明)

- ・令和7年度学校評価シートについて
- ・令和7年度地域連携・国際交流事業実施状況について
- ・令和8年度高校入試出願状況について

### (学校運営協議会委員から)

- ・教員の自主勉強会の中で、ICTや生成AIと聞くと若い先生や男性の先生が多いと予想される。先生の中で大きく二極化しそうだが、働きやすい環境であれば、誰もがしっかりと情報交換・情報共有を行いレベルアップできる、本校ではそれができていると考える。
- ・本校には元気な先生が多い。こどものパワーを教員自身の前向きなエネルギーに変えられる学校、非常に恵まれた環境である。
- ・「学校行事等の精選と充実」のC評価は戒めなのか。スクラップ&ビルドは、いろんな角度から検証が必要でとても難しいので辛めの評価も理解できる。
- ・保護者としては、学校行事で先生を交えたクラスや学校の団結、こどもの成長が感じられるので、今くらいが丁度よいと考える。こども自身が考えて主体的に取り組み、思い切り楽しめているのは、本校の努力の成果である。
- ・生徒が地域に出ているのはうれしいこと。今もそうだと思うが、温かい学校にしてほしい。先生方が色々抱えている中、来たいと思ってもらえる学校作りは難しさもあるが、頑張ってもらいたい。
- ・本校に関してネガティブなことを聞かないので、同窓生・地域住民として誇らしい。保護者会・学校の努力、ボランティアや清掃活動などを通じて、本校と関係のない地域住民からも信頼される学校であってほしい。
- ・通学範囲が広いにもかかわらず、地域に根ざした信頼される学校になっているところも良いと思う。
- ・ポジティブ思考や学校が楽しい生徒が多いのはいいが、そのもう一歩先の生徒の育成をめざすことが今後更に大切である。
- ・留学生も来るため、校内のサイン標記を英語でも示す方がよい。

### (3) 二年生総探発表会見学

(4) 感想・情報交換会

「那賀みらい探究ひろば」の情報交換会において、建設的な意見が数多く出され研修が深められた。

(5) 閉会

4 資 料

- (1) 令和7年度学校評価シート
- (2) 令和7年度地域連携・国際交流事業実施状況
- (3) 令和8年度高校入試出願状況
- (4) 二年生総探発表会
- (5) 育友会だより等